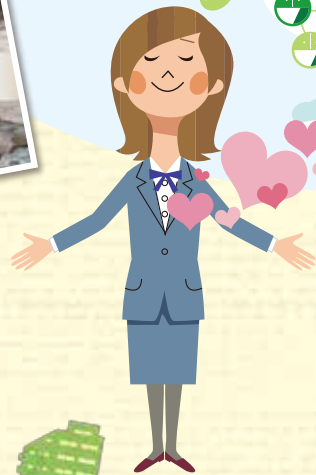


繊維業、窯業 日本一の愛知県

若者のチカラ

若手社員に聞いてみた
繊維業・窯業で働く魅力



contents

繊維業

茶久染色株式会社（一宮市） 2

◆ 技術部 花田 優希さん ◆ 技術部 仲井 万由子さん

中外国島株式会社（一宮市） 3

◆ 商品企画部 田畑 知著さん

オカトク株式会社（知多市） 4

◆ 仕上げ部 新海 恵里佳さん

有限会社ナカモリ（蒲郡市） 5

◆ 営 業 武内 匠さん

窯業

合資会社双葉製陶所（瀬戸市） 6

◆ 成形担当 服部 渉太さん

合資会社マルワイ矢野製陶所（瀬戸市） 7

◆ セラミックス事業部 佐藤 慧さん

陶榮株式会社（常滑市） 8

◆ 製造グループ成形チーム サスラー 朗敏さん

有限会社山源陶苑（常滑市） 9

◆ TOKONAME STORE 店長 加藤 明夏さん

栄四郎瓦株式会社（碧南市） 10

◆ 製造部生産管理係 今吉 銀河さん ◆ 製造部本社第1工場 柴田 将成さん

三州野安株式会社（高浜市） 11

◆ 製造部 大屋 琢磨さん ◆ 品質保証部 仁木 綾香さん

◆ 商品管理部 野村 あやのさん



繊維業

身近にある、
いろいろなモノで
活躍中！

一人前には程遠い
ですが、いろいろな
ところで役に
立ちたいです。

奥が深くて難しい
けれど、親切に
教えてもらえます。

ちゃきゅうせんしよく
茶久染色株式会社

技術部
仲井 万由子さん
(2017年入社)
試験用の糸を染めています。

技術部
花田 優希さん
(2014年入社)
生産現場の前段階として、
色を決定しています。



仕事内容

花田

お客様からの指示書にある色見本を基準として、その色を再現するために、染料をどのような配分で混ぜればいいのか。試験室で染めた糸の染料配分を数字として決める仕事です。まだ教わりながらやる部分もありますが、質問があればその都度、上司が丁寧に教えてくれます。

仲井

試験室で試験用の糸を染める仕事です。私が染めた糸を花田さんが確認して数値化するというのが、現在の仕事の基本的な流れです。絵を学んだ経験から色に関する知識はありますが、絵と糸は全然違い、まだまだ学ぶべき事がたくさんあります。



● この仕事を目指したきっかけ

花田

就職先を探しているときに、先に内定が決まった同級生がいたことで茶久染色を知りました。それまで繊維業の知識がまるでなく、手作業の多い職業をイメージしていましたが、会社見学の際、機械での自動作業も多く、純粋に面白そうだなと印象が大きく変わりました。

仲井

大学で美術を学び、色に関する会社に就職したいと探していて、偶然見つけたのが茶久染色です。それまで絵を描くことばかり考えていて、繊維の色には気が付きませんでした。会社見学で、今まで見たことのない機械や、働いている人の真剣な表情を見て、面白そうな仕事だと感じました。

● この仕事の面白さ、やりがい

花田

作業の指針になる指示書には、その繊維の用途も書かれており、最終的に何になるかをイメージしながら仕事ができます。たとえば有名なキャラクターが描かれる生地の色を再現するなど、知っているものに関わる場合は、特にモチベーションが上がります。

仲井

直属の上司が「いまやっている仕事が、こういうものになるんだよ」と、どのような用途で使われるのかを頻りに教えてくれます。それを知ること、自分のやっている仕事で社会で使われていると改めて感じられて、やりがいになっています。

[会社紹介]

- 茶久染色株式会社
- 〒494-0001
愛知県一宮市開明字苅安賀道31番地
- TEL 0586-45-2345
- <http://www.chaq.jp>

弊社は、大正5年創業。繊維業のなかでも染色に特化した会社です。取引先の希望する色合いを的確に再現して繊維を染めるだけでなく、防災・難燃・帯電防止、吸水など、機能性を繊維に与える加工も取り扱っています。取引先は大手を含めて幅広く、納めた先で完成する品も、衣類や乗り物のシートなど多岐にわたります。

彼らは未来の主役になる立場。
経験を積みつつ好奇心を持って
新しいことにも挑戦してほしい。

技術部 次長
長屋 一昌さん



繊維業

いつか人を感動させる
服地を作りたい。



素材の可能性や
面白さを感じる事が
出来る毎日です！

ちゅうがいくにしま
中外国島株式会社

商品企画部
田畑 知著さん
(2014年入社)

仕事内容

服の素材となる織物を作る仕事です。

商品企画部では織物生地を作る仕事をしています。
アパレルデザイナーさんの生地デザインに合わせた織物生地を作ることや、オリジナル生地の開発に携わっております。
糸選びに始まり染色や織り、仕上げの加工など、ひとつの生地が完成するまでの工程に関わる事が出来るともやりがいのある仕事だと思います。
今後の目標は、自分で企画した生地を自らの言葉で提案し、それが服となることです。



● この仕事を目指したきっかけ

私は高校卒業後にサービス業へ就職し、約7年勤めています。以前から絵を描くことが好きで、やがてテキスタイルに興味を感じたことから、仕事を辞めて大学に入学することになりました。
在学中に参加した催事で中外国島と山田さんを知って、誘っていただけなのが、入社の一きっかけです。



● この仕事の面白さ、やりがい

織物をひとつ作るのには、下請けの方も含めてたくさんの方の協力が必要です。そのコミュニケーションでは前職の経験が生きているように感じます。
織物は奥が深く、大学で勉強もしましたが、現場では今でも発見があります。4年ほどの経験で、仕上がりにある程度の予想はできるようになっていますが、思っていた以上のモノに仕上がることもあって、こうした良い意味での驚きや発見があったときは、特に面白みを感じます。今のところ、人から感動させられることばかりですが、いつか自分の作った生地で人を感動させたいと思っています。

[会社紹介]

- 中外国島株式会社
- 〒491-0931
愛知県一宮市大和町馬引字焼野48
- TEL 0586-45-0181
- <https://www.ckktex.co.jp>

弊社は直営工場を持ち、紳士服や婦人服に使われる服地を企画・製造して、国内外に販売する毛織物メーカーです。繊維産地として栄えた尾州(尾張地方の通称)の現存するメーカーとして最古の歴史があり、これまで培ってきた技術を背景に、伝統を守るだけでなく、時代に合わせたスタイルを提案しています。

商品企画部 取締役部長
山田 誠一さん

彼女に対しては、サポートはしますがなるべく任せることを意識しています。それがきっと、仕事の「面白み」になるはずです。



繊維業

人間関係が良くて
働きやすい環境。



いずれ仕上げ部を
まとめる立場に
なりたいです。

オカトク株式会社

仕上げ部

新海 恵里佳さん

(2011年入社)

仕事内容

生産した綿織物の品質をチェックしています。

仕上げ部では生産工程の最後にあたる品質管理として、生地汚れなどの欠点がないかを確認しています。

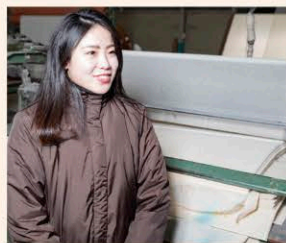
また、最近は後輩ができて、仕事を教えるようになりました。私自身が新人の頃どうだったかを思い出して、分かりやすく教えられるように工夫しています。正しく理解していないとしっかり教えられませんから、勉強不足ではできません。仕上げ部に限らず会社全体で人間関係が良く、休みがとりやすいなど時間の自由が利くため、とても働きやすい環境だと感じています。



● この仕事を目指したきっかけ

接客の仕事が苦手で、高校卒業後にパートとして工場
で勤めました。その後正社員待遇を求めて事務職に転
職したものの、サービス残業が常態化していたため再
び転職を決意。

その時近場で良さそう
だと見つけたのがオカ
トクでした。3ヶ月の試
用期間で感じたのは、周
りの人が親切で良い人
ばかり。ぜひここで働
きたいと思いました。



● この仕事の面白さ、やりがい

初めて見るものや複雑なアヤの織物など、分かりに
くいものでも欠点を見つけられたときに、達成感
を感じます。もし仕上げ部で見つけられなかったら、
そのままお客さんのところに納品されてしまいます。
それを防ぐことができたというのがやりがいにつな
がります。

経験を積むうちに、会社の他部署で働くことにも
興味を感じるようになりましたが、いまの担当部署
での仕事が楽しいので、この部署で一番頼られる存
在になりたいと思っています。

【会社紹介】

■ オカトク株式会社

■ 〒478-0021

愛知県知多市岡田字向田61

■ TEL 0562-55-3025

オカトクは100年以上の長い歴史がありつちも、
社会のニーズに合わせて柔軟に変化することのできる
織物製造の会社です。

織機の改造による、産業研磨布(布やすり)分野への参入
など、時代に合った工夫が弊社の長所になっており、
多品種小ロットの生産に応じられる生産体制なども含め、
取引先からの好評を得ています。

新海さんは、経験を積んで、
今や頼れる存在。
これからも若い子をまとめて
現場を引っ張ってほしい。

代表取締役社長
安藤 嘉嗣さん



繊維業

モノづくりの現場に近く、
ゼロから作り出せる。



やりたいことがあれば
挑戦させてもらえる
環境です。

有限会社ナカモリ

営業

武内 匠さん

(2015年入社)

仕事内容

自社製品を売り込み、ときに作り出す仕事。

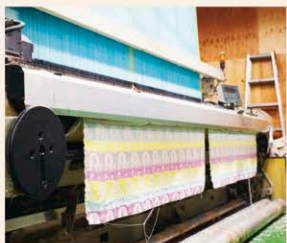
営業職として、製品を小売店に卸す業務がある一方、OEMの供給元として、顧客に提案して一緒にモノを作っていく仕事があります。

また、自社ブランドを展示会に出展する際には、そのスタッフとしても働いています。小さな会社で営業職の人数が少なく、直属の上司は社長ですが、社長も営業として社外に出ていることが多いため、ある程度のことは自由にやらせてもらっています。そのため、責任は大きいものの、仕事のやりがいも大きいと感じています。小さい会社ならではの特権なのだろうと思います。



● この仕事を目指したきっかけ

大手タイヤメーカーの営業職として3年ほど勤めていましたが、家業(経通し)を継ぐために、修行のつもりで中瀬織布に転職しました。そして、モノづくりの現場で1年ほど経験を積んだ頃に、製品販売を担うナカモリの社長から、展示会スタッフとして手伝うよう頼まれました。それが非常に面白かったことでナカモリの営業に移りました。



● この仕事の面白さ、やりがい

前職では決まった商品を小売店に卸す、ルートセールスのような仕事でしたが、現在の仕事では、商品の形がないところから始まる場合もあります。要望を聞いてゼロから企画。顧客や作り手と相談しながら作り上げていくことができ、その過程には面白さもやりがいもたくさんあります。モノづくりの現場がすぐ近く(下のフロア)にありますので、細かな調整にもすぐ対応できて、フットワークの軽さが心地よいです。また、海外の展示会に出展する機会が年に何度もあり、そうした活動は難しい反面、特にやりがいを感じます。

【会社紹介】

- 有限会社ナカモリ
- 〒443-0102
愛知県蒲郡市金平町折坂6-4
- TEL 0533-57-7811
- <https://nakase.jp/>

中瀬織布合資会社の製品販売会社として設立されたナカモリは、日本における綿織業発祥の地とされる三河地区(蒲郡市)に拠点があります。綿毛布やシーツ、カバー類、多重織ガーゼなどを主製品に、OEM生産に加えて自社ブランド「fuwara(ふわら)」も展開。国内だけでなく世界市場へも積極的に展開を進めています。

今後のビジネスは海外も重視。
語学スキルとハートを磨いて
世界でも活躍してほしい。

会長
中瀬 司さん

